



2011男女共同参画 セミナー開催



NOKKOさんの
メッセージ

投げ出す
無理せず
がんばれ！
おかあさん+おねえさん
おねえさん

平成23年12月4日(日)、静岡県と連携した事業として、男女共同参画セミナー「女性の持つパワーを引き起こせ！～社会で輝く女性になるために～」を大谷キャンパスの学生会館で開催しました。当日は、晴天に恵まれ、学外からも多くの方が参加してくださいました。参加者の皆さんは、ゲストのNOKKOさん(シンガーソングライター)の仕事や育児についてのインタビューを真剣に聞いていました。きっと、何かよいヒントを得て、ご帰宅して下さったと思います。

静岡県や静岡大学の男女共同参画に関する取組みを知ることができて良かったというご感想もいただき、充実した内容のセミナーでした。ご協力をして下さった皆さま、ありがとうございました。

NWECフォーラムへ参加

平成23年10月21日(金)～10月23日(日)に開催された「平成23年度男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」において静岡大学は、山形大学、大阪府立大学、長崎大学とともにワークショップを開催しました。

テーマは『「女性研究者支援モデル育成事業」から「男女共同参画」へ～事業終了後、同事業の成果を活かしていくために～』でした。この4つの大学は、「女性研究者支援育成モデル事業」の採択期間が終わった大学、採択中でさまざまな事業を展開している大学、採択直後これからさまざまな取り組みを始めようとしている大学で、同事業の推進と事業終了後の課題や対応策などを議論しました。

静岡大学は採択期間が終わった大学として、これまでの取組み成果や、女性研究者だけではなく全学的な推進体制のもとで、男性も含めた男女共同参画の視点を持って、より幅広く事業展開を図っていることなどを報告しました。参加者は、静岡大学のきめ細かいオンデマンド支援と意識改革に関する取組みに関心を持ったようでした。

JSTでヒアリング

JST(独立行政法人科学技術振興機構)の平成23年度評価対象プロジェクトのヒアリングが平成23年11月15日(火)にありました。平成20年度から22年度にかけて「女性研究者支援モデル育成事業」の採択を受け、女性研究者支援に取り組んできた内容と今後の取組みを伊東幸宏学長自らが報告しました。

静岡大学が3年の間、「意識改革」「研究環境の改善」「女性研究者の裾野の拡大」「全学的な男女共同参画推進体制の整備」を4本柱として、大学独自の「女性研究者採用加速システム」も導入し、積極的に事業展開してきたことを説明しました。

大切なお知らせ

①春休み学童実施

平成24年3月末から4月初めにかけて、城北キャンパスで春休み学童保育を実施します。

募集開始は平成24年1月末からの予定です。詳細は、後ほどHP等でお知らせします。

②学会参加時保育支援制度

学会参加時保育支援制度の利用を募集中です。ご利用をお考えの方は、年度末を控え、申請の締切など、男女共同参画推進室までお問い合わせください。

③研究支援員の募集

平成24年度前期の研究支援員利用者を来年1月に募集します。今まで利用したことがない方もご利用をお考えください。

④寄附のお願い

これまで、「たけのこ」へ絵本、積木、ぬいぐるみ、パペット、音の出る車などのご寄附をいただいております。皆さま、本当にありがとうございました。引き続き、本やおもちゃ、来年のクリスマスに向けて、クリスマス関連のもの(ツリーや飾りなど)がありましたら、よろしくお願ひします。

また、城北キャンパスの学童保育でも、トランプ、将棋、ゲーム(オセロなど)等を必要としております。学童保育へのご寄附もお願いいたします。

⑤多目的施設「たけのこ」の利用

平日の一時保育のほか、土曜、日曜、祝日もご利用できますので、お申し込みください。

男女共同参画クローズアップ



キャンパスフェスタin静岡で ジェンダーパネル展&トークショー開催

平成23年11月19日(土)、20日(日)、多目的保育施設「たけのこ」で、「ジェンダーパネル展」と「トークショー」を行いました。

イベントということで、初めて「たけのこ」を見学された方も多く、学生が装飾してくれた内装に感動していました。また、パネル展では、学生や教員の男女比などをグラフにして、懐かしい写真とともに静岡大学の歴史に触れることができましたと思います。

トークショーでは、実際に育児休業を取得した男性職員の貴重な話を聞き、育児休業期間の過ごし方や、そのとき感じたことが、新鮮に伝わり、よい経験になりました。



卒業生を学際科目の講師に招きました

学際科目「ジェンダーからみる現代社会」では、平成23年12月9日(金)と12月16日(金)の両日、卒業生を講師に招き、仕事のことや就職のことなど、在学生が最も興味のある話を伺いました。

今回講師に招いたのは、新村誠章さん(平成19年3月大学院農学研究科人間環境科学専攻(修士)修了)、河部千香さん(平成23年3月大学院理学研究科化学専攻修士課程修了)、福田敦史さん(平成13年3月工学部物質工学科卒業)、市川沙央梨さん(平成15年3月情報学部情報社会学科卒業)の4人です。

講師の卒業生から、「どんな失敗も、足踏みも、挫折も、経験として役に立たないことはない」「女性も男性と同様に仕事をしている」「仕事と家庭は切り離している、仕事とプライベートは別」「自分の興味があること、得意なことを見つけ、一生続けられる仕事を探す」「仕事探しのコツ」といった内容が話され、受講生は真剣な眼差しで聞き入っていました。

受講生の感想では、先輩の話を身近に感じて、わが身に置き換えて考えているようです。今回の、卒業生を講師に招いた講義は、受講生にも評判が良く、成功でした。

DV防止出前講座開催

静岡市との協働で平成23年11月11日(金)に学際科目「ジェンダーからみる現代社会」の一つの講義として立命館大学非常勤講師伊田広行先生をお招きし、デートDVについて学びました。普段、デートDVについて考えることがない学生もさまざまな知識や心がけをもつ良い機会となりました。また、男女間だけではなく、人と人とのつながりや関係についても考えることができた時間となったと思います。伊田先生、静岡市アイセルの皆さま、ありがとうございました。

防災対策委員会へ提言

防災に女性の視点を取り入れるよう、委員会へ提言を行いました。男女共同参画推進室では、女性の視点を取り入れた「防災パンフレット」の作成を進めています。

女性研究者NOW!

私が静岡大学に赴任したのは、2011年3月11日未曾有の東日本大震災からわずか3週間も経っていない4月でした。全国が大混乱し、静岡大学も緊急対応を迫られているさなか、同講座の先生方、そして学生は温かく迎えてくれました。お蔭様ですぐに環境に慣れることができ、とても感謝しております。

今年度のニュースのひとつ「なでしこジャパンW杯優勝」は、嬉しいニュースでした。「サッカー＝男性」の概念が大きく変わり、男女共にサッカーをする・観る楽しさを味わうきっかけとなりました。私の専門種目であるダンスの世界でも、以前は「ダンス＝女性」のイメージが根強くありました。しかし近年、テレビをつければ音楽に合わせて楽しそうに踊る男性ダンサーの姿が多くみられるなど、この概念も時代と共に変化しています。

私は大好きなダンスのもつ魅力を多くの人に知ってもらいたい、その一心で大学の教員・研究者という道に進みました。ダンスの一番の特徴は、誰もが場所を選ばず、感情のおもむくままに楽しみ、表現できる文化だということです。ダンスという身体を媒体にしたコミュニケーションは、人と人、心と心を繋げ“絆”を深めることができます。特に、感性豊かな子供の時にダンスに触れることは、リズムに共感して動く身体、自分の身体の可能性を知る良い機会です。このようなダンスの持つ魅力を、私は将来教員となる皆さんに伝えたい、そして皆さんの力で多くの子供達に伝えてほしいと思っています。そのためにも、教育者・研究者として日々努力を重ねていきたいと思っています。

(教育学部 保健体育講座 助教 山崎 朱音)